

整形外科外来だより

No 5 2006/01/01 けいゆう病院 整形外科 発行

◆新年明けましておめでとうございます◆

昨年はいろいろスタッフの入れ替わりがあって皆様にはご迷惑をお掛けしました。今年は3月に木内部長が定年退職されることとなります。それにともなって4月以後木内先生の外来は、月曜日は新しい先生が担当になり、木曜日は中止となります。リウマチ外来は引き続き木内先生が担当致します。大幅な変更となりますがご理解、ご協力のほど宜しくお願い致します。

◆みのもんたさんも手術する腰部脊柱管狭窄症とは◆

新年早々テレビでおなじみのみのもんたさんが手術を受けるそうです。病名は腰部脊柱管狭窄症です。坐骨神経痛がひどいようで、そんな目でテレビを見てみるとみのさんがしょっちゅう腰に手をやっているのに気付きます。紅白歌合戦を無事乗り切れるとよいですが・・・。

ところで腰部脊柱管狭窄症とはどんな病気でしょうか？ 背骨の中心に脊髄神経を入れている脊柱管という部分があります。この病気ではこの脊柱管という管が色々な原因で細くなってしまいます。その結果片方の脚が痛くなる坐骨神経痛や両方の脚やお尻のあたり、或いは陰部のあたりがしびれたり、痛くなったりする馬尾症状を出してきます。これらの症状は腰をまっすぐ伸ばすとひどくなるので、腰を前かがみにして歩くようになってしまったり、一定時間、たとえば5分とか50mとか歩くと症状がひどくなって休むようになってたりします。ただ歩けなくなっても短時間座って腰をかがめれば元のように歩けるようになるので、しょっちゅう歩いては休んで、歩いては休んでということを繰り返すようになります。この状態を専門用語では「間欠性跛行」といいます。間欠性跛行の原因には血管が詰まってしまう病気もあるので素人判断で気安く構えていると気がついたら足の指が腐ってしまうなんてことになってしまうこともあるので要注意です。

治療は血管を広げる点滴(プロスタグランジン)や仙骨神経ブロック、レントゲン室でレントゲンをみながら神経根に直接薬を入れる神経根ブロックなどがあります。神経根ブロックは直接神経に針を刺すので一度受けたら忘れられないほど“刺激的？”な治療です。これらを行っても症状が取れない場合は、手術となります。今ではご希望なら術後2週間以内の退院も可能です。もし同様の症状の方いらしたら、鎌田または市原の外来を受診してください。(文責 鎌田修博、市原大輔)